

平成27年度行政評価 施策評価シート（平成26年度実績）

施策名 人権尊重の社会づくり

施策コード

010101

1. 施策の担当	
主管課	市長公室 人権推進課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第1章 市民と協働し、すべてのひとが輝くまちづくり（自律・協働）	節 第1節 人権
	施策	人権尊重の社会づくり	

**基本方針**  
市民がさまざまな人権情報を収集することによって理解度を深め、各種団体や市民グループと共に人権啓発に取り組み、身近なところから差別や偏見のない人権尊重の社会の実現をめざします。

**現況と課題**  
 ・この数年の間も、差別落書きや同和地区の問い合わせ等人権侵害事象が起っています。  
 ・市職員を人権対策本部員として位置付け、人権啓発を進めていますが、工夫しながら、さまざまな人権の視点での取り組みを進める必要があります。  
 ・家庭、学校、地域や職場など身近なところで人権啓発を進められる人材づくりの講座を実施しています。さらに参加者を増やすための検討を進めています。  
 ・各町会と協議・連携して、人権についての懇談会を実施しており、継続して実施していく必要があります。  
 ・人権関連の市民団体と連携し、市内13小学校区ごとに人権啓発活動を実施しています。その内容や方法については、さらに地域の自主的な活動へと移行していく必要があります。

**施策目標**  
対象（誰を、何を、どこを）

市民

**意図（どのような状態にしたいのか）**  
身近なところから差別や偏見のない人権尊重の社会の実現を図る。

3. 市民ニーズ							
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
満足度（偏差値）			48.9				
重要度（偏差値）			33.0				

4. 施策にかかるコスト								
	単位	H25決算	H26決算					
コストの内訳	人件費	千円	25,001	25,621				
	事業費		247,367	246,588				
	フルコスト		272,368	272,209				
財源内訳	国庫支出金	千円						
	府支出金		1,152	378				
	市債							
	その他		536	384				
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		270,680	271,447				
一般財源2（＝直接事業費－特定財源）	245,679	245,826						

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		人権問題町別懇談会の年間参加者数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0
実績値	669.0	749.0	894.0	861.0	819.0		
達成度	60.81	68.09	81.27	86.1	81.9		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
人権課題について自発的に、積極的に関わろうとする市民が増えることが望まれるが、参加者数は人権啓発の効果の1つの指標になる。	過去の実績を考慮に入れると、参加者増よりはむしろいかに参加者数を減らさずに継続して実施していくかが大切と考え、目標値を変更した。	各町別に懇談会を開催いただいているが、複数の町が合同で開催するところが多くなってきている。講師団（チーフは部長級）の創意工夫により参加者増に努めていただいている。

② 成果指標 2		市民交流センターの年間利用者数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	55,000.0	87,270.0	215,066.0	220,390.0	236,000.0	285,000.0	290,000.0
実績値	83,114.0	82,594.0	219,250.0	235,262.0	279,639.0		
達成度	151.11	94.64	101.94	106.74	118.49		

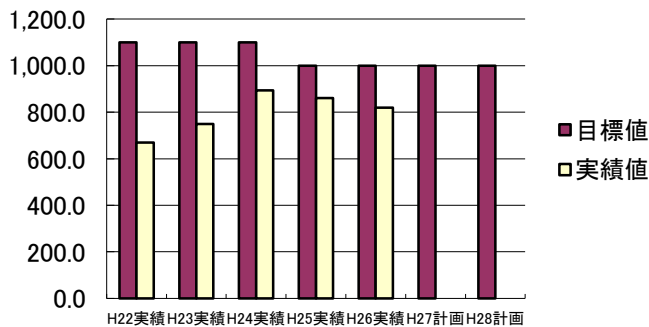
指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
市民交流センターは、差別、偏見の解消には、地域内外の交流が重要であるとの思いから、様々な交流事業に取り組んでいる。センターの利用者数が増えることは、市民の交流・啓発が進み、積極的に地域に関わろうとする人が増えていることを表していると考えられる。	市民交流センターとして、施設統合後の平成24年度以降、年々増加しており、平成26年度実績も計画より大幅に増加している。今後も若干の増加が見込まれるため、平成30年度の最終目標値を300,000人に設定する。	市民交流センターによる各種地域交流事業により、市民の交流・啓発がすすんでおり、利用者数は、増加傾向にある。

③ 成果指標 3		市民交流センター利用者満足度					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	60.67	63.0	66.0	69.0	90.0	90.0	90.0
実績値	60.67	61.33	70.5	63.1	76.9		
達成度	100.0	97.34	106.81	91.44	85.44		

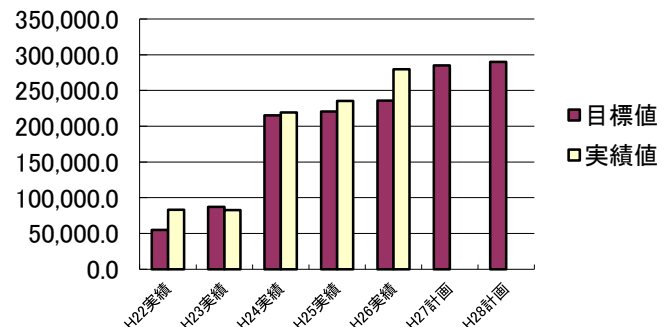
指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
市民交流センターの利用者アンケートからの満足度を成果指標に加えることにより、利用者の満足度が把握され、人権推進のための事業内容などがより充実されたかどうかの指標となるため。	平成22年度の実績値60.67%、毎年3%の増加をめざしていたが、平成26年度以降毎年90%を目指す。	市民交流センターとなって3年目であり、事業も市民のニーズに応じて実施しているため、満足度も増加している。また、「不満」の大半は、施設の老朽化によるものである。

図表

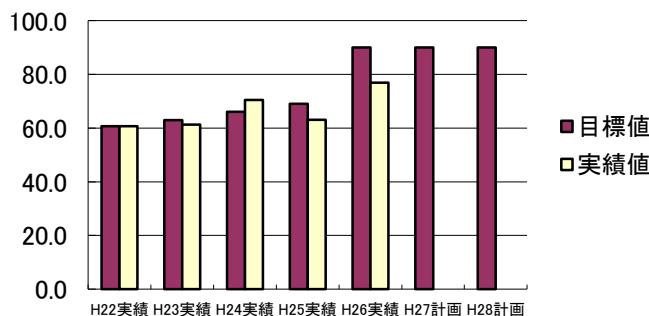
成果指標①



成果指標②



成果指標③



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>3</b>	町別懇談会については、参加者数が若干減少したが一定維持している。今後も引き続き、懇談会の開催時期や各町での呼びかけ等、工夫しながら、市民への地道な啓発活動として、事業継続していく。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>2</b>	市民交流センターとして指定管理者に管理運営されて、2年目になるが、満足度は60%を超えており一定の評価はされている。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>3</b>	市民交流センターは、同和対策事業から一般対策事業に移行後、十分にその機能を果たしている。
	合計点	(10点中) <b>8点</b>	
総合評価	<b>B</b>	継続して施策を実施していく必要がある。	
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)	<b>B</b>	引き続き目標値の達成に努めること。	
三次評価 (理事者による評価)	<b>C</b>	人権問題町別懇談会の年間参加者数の向上に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業							
	予算コード	事務事業名	H26年度決算額			H27年度予算	一次評価
			人件費	事業費	一般財源		
1	01007000	研修・講座事業 (人権推進課)	4,700	309	309	432	B
2	01007100	人権啓発事業	12,534	1,369	991	3,003	B
3	01007400	人権推進活動補助事業	2,350	8,493	8,493	8,995	B
4	01007600	同和行政推進事業	2,904	437	437	498	B
5	01081720	市民交流センター管理運営事業	3,133	235,980	235,596	235,939	B
合計			25,621	246,588	245,826	248,867	